

いずみクラブ通信

12月号 2021.11.30

本年度のいずみクラブは、コロナ禍の影響で12回（11月末時点）しか実施することができませんでした。体験活動も校内で実施していましたが11月3日、本庄教育集会所で行われた人権フェスティバルにバンドクラブ8名が『炎』を演奏する機会を得ました。会場では大勢の小学生や先生方にも応援していただき、励みになったと思います。バンドクラブは、9月から毎日昼休みに練習を継続し、ステージで素晴らしい演奏をしてくれました。コロナウイルス感染予防の中で、発表の機会に恵まれたことは子どもたちにとっていい体験だったと思います。

今年も残り1か月になりました。時間が限られていますが、先生方や地域の皆様のお力をいただきながら、充実したいずみクラブにしたいと思います。12月のいずみクラブは、次の予定で実施します。

【 予 定 】	
下学年（1～3年）	上学年（4～6年）
12月10日（金） 学習・体験活動	12月 3日（金） 学習 12月10日（金） 体験活動 12月17日（金） 学習
活動時間 学習：14:50～15:20 体験：15:35～16:15	活動時間 学習：15:30～16:00 体験：15:35～16:15

睡眠の大切さ

いずみクラブ通信[9・10月号]で『家庭のコミュニケーション』『朝食習慣』が学力向上に関係することを紹介しました。現在、『早寝・早起き・朝ごはん』運動が全国的な活動に発展しています。この運動は、子どもたちの生活に大きな異変が起きてから始まりました。午後10時以降に就寝する子どもの率が、3歳児では1980年22%、1990年には36%、2000年には52%と顕著に増加し、夜型の生活習慣が一般化してきました。

人間の生活は、「昼間に行動して夜は眠る」のが自然で当たり前です。太陽が昇っている時間には起きて活動し、食事をする。太陽が沈んだら体を休めて睡眠をとる。これを毎日繰り返す。これが子どもの育ちには最も大事なことです。今、子どもの生活習慣の改善が叫ばれています。睡眠について、ご家庭で話し合ってください。

サンタクロースっているんでしょうか？

12月になれば、子どもたちの楽しみは、サンタクロースからのクリスマスのプレゼントです。でも、サンタクロースは、本当にいるのでしょうか？こんな疑問に答えた本がありますので紹介します。

1897年のアメリカのニューヨーク・サンという新聞に、8歳の女の子の質問に、投書で答える形で掲載されました。いまでも語り継がれる名社説を訳した本です。目に見えないものの、心の大切さを語りかける、大人にもぜひ読んでほしい作品です。

< 偕成社 >

